

教務だより

2011年5月号
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

君にとって一番大切なことは何ですか？

茗溪塾塾長 宇野 雅春

S君は、部活に追いまわされているように感じています。早朝練習から始まり放課後の練習、いつも塾へは開始時刻すれすれか、遅刻して来ます。へとへとに疲れているので、毎日「休んでしまおうか」という思いが頭をよぎります。とにかく、ゆっくり、もしくは、ぼんやりしていたいと常々思っています。授業にも身が入らず、分からないとストレスを感じながらも、積極的に質問したり解決したりも億劫と考えています。何しろくたびれているのです。土曜日曜は練習試合で朝から一日つぶれてしまいます。たまの祝日でさえ、大会、試合と、結局は毎日のスケジュールに部活がつきまとう感じです。

こんな調子ですから、学校の授業中も居眠りすることが多く、ときには先生を無視して友達としゃべることもあります。そのために、授業はさっぱりわからないので聞いてもしょうがないと思いついています。成績も当然ふるいません。休み時間はもっぱら友だちとダベリングや悪ふざけです。ちょっとした時間を見つけては、友達とおしゃべりしたり、じゃれあったり。でも、そこだけは人間関係を作る上で重要なことと思っています。そして、忙しく大変なのに、なぜかTVも見ています。ゲームもやっています。でも、気持ちは「忙しい！」のです。毎日がつらいのです。塾の宿題は、やる暇ナシ！学校の提出物もそこそこ…。塾に来ている理由は漠然と、「受験があるから…」毎日 があるからと時間に追いまわされながら、なんとかやっつけてはいる…。そんな生活です。

つまり、S君は今、「一番大切なことは何か」が分からなくなっているようです。時々部活がオフのときは、「補習」に出かけようと思いますが、友だちに遊びに誘われると、かならず友だちの方を優先します。なぜなら、「友だちは大切」だからです。ごもっともな話ではありますが、はたして、この場合適切な判断とってよいのでしょうか？

S君に限らず、多くの生徒はそうやって日々を過ごしていきます。気がつくとも自分でも何が一番大切なものが分からなくなってしまう。「友だちも大切」…「遊びも大切」…「家族も大切」…やっぱり「自分が大切」…。今のS君なら真っ先に「勉強」を排除しそうです。「勉強」が一番不必要なものに思えてきます。

東日本大震災を経て、大人たちも戸惑っています。「何が一番大切なのか？」「自分がすべきことは？」「自分に何ができるのか？」など…。多分、どんな人でも「一番大切なこと」の選択を迷いながら、前に進んでいきます。子供たちが勘違いをしているのは、親に与えられ守られた今の生活がそのまま「人生」と思っているということです。人生はそんなにも優しく緩やかで甘いもののでしょうか？先の見えないジャングルのような厳しさを持っている、ということに全く気が付いていません。どんな人にも将来というものがあります。子供はいずれ大人になり自立する時がきます。「一番大切なこと」=「将来にかかわること」というのは実は誰もが知っています。人生が決して甘くはないということも、知ってはいるのですが、でも忘れていきます。

5月は、「一番大切なこと」を優先していくことがテーマです。忙しい中でそれを見失わないためにはどうすればよいか、ということです。塾生ノートの「月の計画」や「週間の計画」「1日の計画」「次の日計画」そして「TO DO LIST」がカギになります。

「自分にとって今一番大切な事」をもう一度しっかり考え、「優先順位」を判断しつつ、些細なことは瞬時で片づけること、無駄な時間を省くために計画を立て、将来にかかわる大切なことだけはしっかり積み上げていくこと。これによって追いまわされる生活から余裕が生まれます。是非今月から、実行してみましょう。